

Tsuyama College		Year	2022	Course Title	English III
Course Information					
Course Code	0047	Course Category	General / Compulsory		
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 2		
Department	Department of Integrated Science and Technology Communication and Informations System Program	Student Grade	3rd		
Term	Year-round	Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	教科書：NEW Flag English Communication II（増進堂） FIRST TIME TRAINER FOR THE TOEIC TEST(センゲージラーニング) TOEIC®L&R TEST 出る単特急銀のフレーズ 参考書：辞書（電子辞書可）ハンドアウト（A4,A3サイズのプリント）を閉じるためのフォルダーも必要。				
Instructor	PALMER Patrick				
Course Objectives					
学習目的：4技能（聴き・読み・書き・話す）をバランスよく養成する。					
到達目標： 1・英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができる。 2・高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することができる。 3・英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。 4・本文の要旨を英語または日本語でまとめることができる。 ◎5・コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることができる。					
Rubric					
	優	良	可	不可	
評価項目1	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることが十分できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることが最低限できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができない。	
評価項目2	高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することが十分できる。	高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することができる。	高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することが最低限できる。	高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することができない。	
評価項目3	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが最低限できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができない。	
評価項目4	本文の趣旨を英語または日本語でまとめることが十分できる。	本文の趣旨を英語または日本語でまとめることができる。	本文の趣旨を英語または日本語でまとめることが最低限できる。	本文の趣旨を英語または日本語でまとめることができない。	
評価項目5	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などを理解し、特徴をあげることが十分できる。	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などを理解し、特徴をあげることができる。	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などを理解し、特徴をあげることが最低限できる。	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などを理解し、特徴をあげることができない。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	一般・専門の別：一般 学習の分野：英語 基礎となる学問分野：英語学・英米 / 英語圏文学・言語学・音声学 学科学習目標との関連：本科目は「①教養豊かな実践的人間力の養成」、「⑤グローバルな視点と社会性の養成」、「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 授業の概要：検定教科書の様々な分野の英文を用いて、内容理解をおこなったうえで、音読や簡単な作文といったアウトプット（話す・書く）活動を実施する。また、その基盤となるインプット（語彙・文法力）活動を実施する。				
Style	授業の方法：英語を読む、聞く、書く活動を中心に行う。 TOEICに関しては、毎時間、単語帳の代わりとなる『TOEIC L&R TEST出る単特急銀のフレーズ』を用いて、英単語の学習を行う。 ただし、授業時間中に全ての単語を発音練習することはできないので、取り扱わなかった単語に関しては自主学習を求める。 また、TOEIC-IP問題を解いて解答解説を行う。TOEIC教材である、『First Time Trainer for the TOEIC Test』のreading sectionに関しては、授業中に問題を解く時間を設けないため、予習必須とする。 成績評価方法：前期中間試験から後期中間試験までは、定期試験の結果を平均して評価する（50%）。定期試験の結果に加え、平素の課題・自己評価など（50%）を総合して成績評価をおこなう。 年度末の成績評価は、後期末試験まで加え、上記の方法で算出された結果を90%に換算し、TOEIC-IP Testの結果を10%加えて評価する。試験には教科書・ノートの持込みを許可しない。場合によっては再試験を実施する。				
Notice	履修上の注意：本科目は学年の課程修了のために履修が必須である。 履修上のアドバイス：「事前におこなう準備学習」として、授業のための予習復習をするとともに、できるだけ多くの語彙を覚えること。授業には必ず辞書を持参授業のための予習復習をするとともに、できるだけ多くの語彙を覚えること。授業には必ず辞書を持参すること（電子辞書も可）。 基礎科目：英語I（1年）、英語表現I（1）、英語II（2）、英語表現II（2） 関連科目：英語IV（4年）、国際英語論I（4）、国際英語論II（4）、英語V（5） 受講上のアドバイス：積極的に授業に参加すること。講義ならびに音読や英作文の活動は、運用能力向上のための基礎となる。そのため、必ず、毎回、教科書・フォルダー・辞典（英和・和英、または電子辞書）を持参し、予習や復習、課題に取り組んだうえで授業に臨み、理解を深めてほしい。後期中間試験後（予定）に実施されるTOEIC-IP Testを必ず受験すること。また課ごとのリスニング課題だけでなく、音声教材を活用してリスニング力の向上に努めてほしい。 遅刻については：授業開始5分すぎでの入室は欠課扱いとする。				

Characteristics of Class / Division in Learning

<input type="checkbox"/> Active Learning	<input type="checkbox"/> Aided by ICT	<input checked="" type="checkbox"/> Applicable to Remote Class	<input type="checkbox"/> Instructor Professionally Experienced
--	---------------------------------------	--	--

必履修

Course Plan

			Theme	Goals
1st Semester	1st Quarter	1st	前期ガイダンス	1年間の学習方法について理解し、学習計画の見通しを立てられる
		2nd	銀フレ001-040 Chapter 7 Part1 TOEIC Unit 1	課を通しての文法事項の概要を理解する。TOEICのShoppingに関わる語彙とリスニング問題が解ける
		3rd	銀フレ041-080 Chapter 7 Part2 TOEIC Unit 1	本文理解ができる。TOEICのShoppingに関わる文法と読解問題が解ける
		4th	銀フレ081-120 Chapter 7 Part3 TOEIC Unit 2	本文理解ができる。TOEICのDaily Lifeに関わる語彙とリスニング問題が解ける
		5th	銀フレ121-160 Chapter 7 Part4 TOEIC Unit 2	本文理解ができる。TOEICのDaily Lifeに関わる文法と読解問題が解ける
		6th	銀フレ161-200 Chapter 7 Review TOEIC Unit 3	本文理解ができる。TOEICのTransportationに関わる語彙とリスニング問題が解ける
		7th	銀フレ201-240 TOEIC Unit 3	課を通してのまとめができる。TOEICのTransportationに関わる文法と読解問題が解ける
		8th	前期中間試験	学習内容の習熟度が確認できる
	2nd Quarter	9th	前期中間試験の答案返却と試験解説, 銀フレ241-280 Chapter 8 Part1 TOEIC Unit4	テストを振り返り、課題を見つけ、今後の学習計画の見通しが立てられる。課を通しての文法事項の概要を理解する。
		10th	銀フレ281-320 Chapter 8 Part2 TOEIC Unit 4	本文理解ができる。TOEICのJobsに関わる語彙とリスニング問題が解ける
		11th	銀フレ321-360 Chapter 8 Part3 TOEIC Unit5	本文理解ができる。TOEICのMealsに関わる文法と読解問題が解ける
		12th	銀フレ361-400 Chapter 8 Part4 TOEIC Unit 5	本文理解ができる。TOEICのMealsに関わる語彙とリスニング問題が解ける
		13th	銀フレ401-440 Chapter 8 Review TOEIC Unit6	本文理解ができる。TOEICのCommunicationに関わる文法と読解問題が解ける
		14th	銀フレ441-480 前期末試験対策 TOEIC Unit6	学習した内容を振り返り、対策を立てることができる
		15th	前期末試験	学習内容の習熟度が確認できる
		16th	前期末試験の答案返却と試験解説, 夏季課題 Optional Reading, TOEIC reading section全て (詳細は別途指示, 変更の可能性ある)	テストを振り返り、課題を見つけ、今後の学習計画の見通しが立てられる
2nd Semester	3rd Quarter	1st	TOEIC 夏課題の小テスト 銀フレ481-520 Chapter 9 Part1 TOEIC Unit7	夏課題の学習を振り返り、理解の確認ができる。課を通しての文法事項の概要を理解する。
		2nd	銀フレ521-560 Chapter 9 Part2 TOEIC Unit7	本文理解ができる。TOEICのFunに関わる語彙とリスニング問題が解ける
		3rd	銀フレ561-600 Chapter 9 Part3 TOEIC Unit8	本文理解ができる。TOEICのOffice Workに関わる文法と読解問題が解ける
		4th	銀フレ601-640 Chapter 9 Part4 TOEIC Unit8	本文理解ができる。TOEICのOffice Workに関わる語彙とリスニング問題が解ける
		5th	銀フレ641-680 Chapter 9 Review TOEIC Unit9	本文理解ができる。TOEICのMeetingに関わる文法と読解問題が解ける
		6th	銀フレ681-720 TOEIC Unit9	本文理解ができる。TOEICのMeetingに関わる語彙とリスニング問題が解ける
		7th	銀フレ721-760 TOEIC Unit10	本文理解ができる。TOEICのTravelに関わる文法と読解問題が解ける
		8th	後期中間試験	学習内容の習熟度が確認できる
	4th Quarter	9th	後期中間試験の答案返却と試験解説, 銀フレ761-800 Chapter 10 Part1 TOEIC Unit10	テストを振り返り、課題を見つけ、今後の学習計画の見通しが立てられる。課を通しての文法事項の概要を理解する。
		10th	銀フレ801-840 Chapter 10 Part2 TOEIC Unit11	本文理解ができる。TOEICのFinanceに関わる語彙とリスニング問題が解ける

	11th	銀フレ841-880 Chapter 10 Part3 TOEIC Unit11	本文理解ができる。TOEICのFinanceに関わる文法と読解問題が解ける
	12th	銀フレ881-920 Chapter 10 Part4 TOEIC Unit12	本文理解ができる。TOEICのBusinessに関わる語彙とリスニング問題が解ける
	13th	冬季課題小テスト 銀フレ921-960 Chapter 10 Review TOEIC Unit12	本文理解ができる。TOEICのBusinessに関わる文法と読解問題が解ける
	14th	銀フレ961-1000 後期末試験およびTOEIC IPテスト対策	本文理解ができる。学習した内容を振り返り、対策を立てることができる
	15th	後期末試験	学習内容の習熟度が確認できる
	16th	後期末試験の答案返却と試験解説	テストを振り返り、課題を見つけ、次年度の学習計画の見通しが立てられる

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	自己評価	課題	Total
Subtotal	50	10	40	100
基礎的能力	45	10	35	90
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	5	0	5	10